

新都庁舎の建築から開庁へ

—新都庁舎の建設—



工事風景 『新都庁建設誌』(請求番号:財務 F91)

丹下健三・都市・建築設計研究所は、昭和 61 年(1986)5月に基本設計に着手、「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」を踏まえながら地区計画、防災計画、庁舎の耐風圧・電波障害の検討、福祉のまちづくりへの対応など、様々な視点で検討されました。また、都の関係主管局及び東京都シティ・ホール建設推進本部の各専門部会からの要望も反映し、同年 11 月に完了しました。昭和 62 年 10 月に実施設計が完了し、翌月には東京都市計画特定街区西新宿2丁目(1、4、5号地)都市計画決定告示、路上建築物(上空通路)等の設置が許可されます。



起工式 『新都庁舎建設誌』(請求番号:財務 F91)

昭和 63 年(1988)4月2日に起工式が執り行われると、5月に第一本庁舎、続けて第二本庁舎の掘削が始まり工事が進んでいきました。そして、平成2年(1990)12月12日に定礎式、同月27日に引渡式を挙行了しました。